

6 電気設備機器

【関連章第3章6】

事例2 「地下鉄車両内でモバイルバッテリーから出火した火災」

出火時分 5月 16時ごろ
用途等 地下鉄車両内
被害状況 車両ぼや モバイルバッテリー1台焼損
概要

この火災は、地下鉄の電車内で乗客の鞆に入れていたモバイルバッテリーから出火したものです。

出火原因は、モバイルバッテリーでスマートフォンを充電中に、モバイルバッテリーのセルが劣化や衝撃等、何らかの要因により短絡したため出火したものです。

所有者が電車内でスマートフォンを充電していたところ、焦げたような臭いを感じたため、鞆の中を見るとモバイルバッテリーから白い煙が出ているのを発見しました。

電車内で異常に気付いた他の乗客が、電車内に設置されている非常通報ボタンを押下し、車掌に火災を知らせました。

火災を発見した所有者は、車両が停車した後、ホーム上に移動しましたが、熱気を感じたため持っていたモバイルバッテリーを床に落としました。すぐに、乗務員が駆け付けて消火器2本を使用して消火を実施しました。

教訓等

モバイルバッテリー内のセルが短絡を起こす要因には、経年劣化や外部衝撃等が考えられることから、乱暴に扱ったりしないようにしましょう。

モバイルバッテリーを充電する際には、購入時に付属されている純正の充電器やメーカーが指定する充電器を使用しましょう。接続部の形が適合するという理由で、充電電圧を確認せずに使用を続けると、故障や火災の原因になります。

膨張したり、使用中に異音が発生する等の異常を感じたらすぐに使用をやめて、メーカーや販売店に相談をしてください。



写真 6-3 ホーム上での焼損状況



写真 6-4 モバイルバッテリーの焼損状況